

桜美林大学北東アジア総合研究所

来る12月19日、東京都内において桜美林大学・北東アジア総合研究所主催による「2009 年末記念集会」が開かれた。今回は神戸大学名誉教授であり、コープ神戸前理事長の野尻武敏氏を講師に招き「友愛の使徒 賀川豊彦」と題した講演が行われた。賀川豊彦(1888-1960年)は大正・昭和期に活躍したキリスト教を基盤とする社会運動家。野尻氏は近代の日本の社会構造の変化を紹介、その中で賀川豊彦の人物像、功績、そして「友愛社会主義」の現代的意義について詳しく説明した。野尻氏は09年6月、1936年の発行以来絶版されていた賀川の著書「友愛の政治経済学」で監修を担当している。今回は録音に分けて講演内容を抜粋、掲載する。

「2009 年末記念集会」を開催

神戸大学の野尻武敏名誉教授招き

「友愛の使徒 賀川豊彦」講演

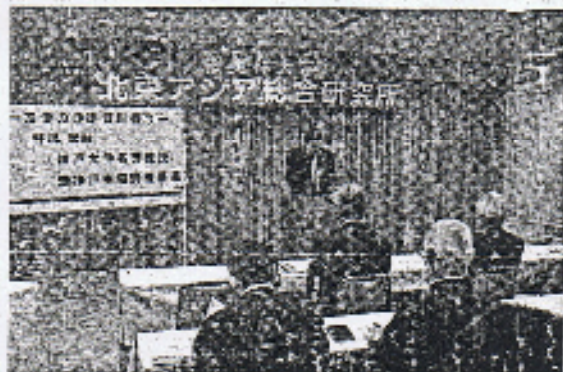


野尻武敏名誉教授

「友愛の使徒 賀川豊彦」講演の様子。野尻武敏名誉教授が講演している様子。聴衆は真剣な表情で話を聞いている。

賀川豊彦は、大正・昭和期に活躍したキリスト教を基盤とする社会運動家。野尻氏は近代の日本の社会構造の変化を紹介、その中で賀川豊彦の人物像、功績、そして「友愛社会主義」の現代的意義について詳しく説明した。

野尻氏は09年6月、1936年の発行以来絶版されていた賀川の著書「友愛の政治経済学」で監修を担当している。今回は録音に分けて講演内容を抜粋、掲載する。



講演の様子

「友愛の使徒 賀川豊彦」講演の様子。野尻武敏名誉教授が講演している様子。聴衆は真剣な表情で話を聞いている。

日本に変革を興した巨人 諸外国で知られる活動家

賀川豊彦は、大正・昭和期に活躍したキリスト教を基盤とする社会運動家。野尻氏は近代の日本の社会構造の変化を紹介、その中で賀川豊彦の人物像、功績、そして「友愛社会主義」の現代的意義について詳しく説明した。

野尻氏は09年6月、1936年の発行以来絶版されていた賀川の著書「友愛の政治経済学」で監修を担当している。今回は録音に分けて講演内容を抜粋、掲載する。